

災害時に備え対策

北斗市 備蓄用組み立て式トイレ導入

【北斗】災害時の備えとして市はこのほど、備蓄用の組み立て式トイレ1台を導入した。(鈴木 潤)



市が導入した備蓄用組み立て式トイレ

屋外用の仮設・常設トイレ製造販売のハマネツ(静岡県浜松市)が開発した「ドント・コイ」で、工具なし

で組み立て可能な洋式トイレ。同社によると、道内で導入は2例目。自治体としては最初。

便槽はアルミ製保護箱でカバーし、外装は防炎性素材のテント仕様となっている。部品はすべて段ボール

で収納でき、スペースを広く取らずに保管できる。たまたま排せつ物から水分を分離する個液分離方式になっているため、くみ取りなしで5500回ほど使えるのも特徴だ。価格は約30万円。

厚生労働省や法務省、東京都庁などが採用しているほか、千葉県、愛知県、大阪府内の自治体での普及が進んでいる。

今月1日に行った久根別・東浜地区の避難訓練の会場で展示し、同社防災環境事業部の石黒元義リーダーが性能を説明した。石黒さんは「携帯トイレ、仮設ト

イレ一方に頼ることなく、複数のタイプを組み合わせて備蓄しておくことが肝要」と話した。

市総務課は「トイレの備蓄についてはいろいろなタイプがあるので、個々の性能を研究しながら必要に応じて導入を検討していきたい」としている。